

# 命を軽視する政治に 喝

「かんぱい」をご覧の皆さん、いつも大変お世話になってます。浅野ふみ子です。いかがお過ごしでしょうか。

いよいよ総選挙です。連日の猛暑より熱い思いで、政治に対する皆さんの怒りや思いを胸いっぱい受け止めて走ります。



●7月28日の宣伝でのこと。「オリンピックは中止！中止しかないよ！」行徳駅に向かう人波の中から、怒りにも似た言葉を話された男性や、「五輪は中止」の横断幕に足を止めた若い方も。「選手が一番かわいそう」「医療機関の逼迫をどうするのか」「問題ない」では済みません。

●連休最後の7月25日、午前は浦安、午後は南行徳で。入院している方のお隣さんと「政府は後手後手、ひどすぎるよ。共産党はぜひ頑張ってください」と意気投合したり、しんぶん赤旗日刊紙や後援会ニュースを読んでくださるという方も。嬉しい。カンパもありがとうございます。



●保健所の新增設、保健師の大幅増員を千葉県知事に求める緊急要望交渉一みせ浦安市議をはじめ浦安、松戸、流山の皆さん、この3月まで派遣職員として関わった元保健師の方も参加。「現場は大変なことになっている」「広域的、専門的、科学的、総合的な保健所であるべき。検査課がないのは問題」と。

☆月曜日の朝（7時～8時）は新浦安駅、金曜日の夕方（17時～18時）は浦安駅で宣伝しています。

自己責任の押し付け政治はもうごめんです。ごいっしょに声を上げ、ストップさせましょう！

日本共産党千葉県委員会副委員長  
衆議院千葉5区

浅野ふみ子



# 民意も国民の命も無視して迷走 もう「菅」自公政権は終わりに！

この期に及んで、なりふり構わずオリンピックにしがみつくと菅総理の口を開けば壊れたテープレコーダーのように「安心・安全の大会」と繰り返してきた菅総理。しかし現実には東京のみならず千葉・埼玉・神奈川の首都圏なども「感染爆発」を迎えています。選手や五輪関係者の感染も広がる一方で、最も恐れていた事態です。

緊急事態宣言の延長や地域拡大が決定された7月30日の記者会見で、菅首相は、感染拡大を招いた自らの責任については明確にせず、記者からの「国民の命と健康を守るという五輪開催の前提は守られているのか」との質問に対しても「人流は減っている」「五輪の視聴率は20%を超えており、ステイホームに一役買っている」などと強弁し、何があんでも五輪にしがみついた態度に終始しました。根拠のない楽観論と引き返す勇気を持たない菅



政権に未来はありません。

## 沖縄の痛みに寄り添わず 新基地建設を強行

沖縄は戦後米軍の銃剣とブルドーザーでじゅうりんされ、基地の島とされています。辺野古新基地NO！の県民の意思は何度も示されているのに、工事が強行されています。



「沖縄の歴史はわからない」……故翁長県知事に、当時官房長官だった菅首相が言い放った言葉です。

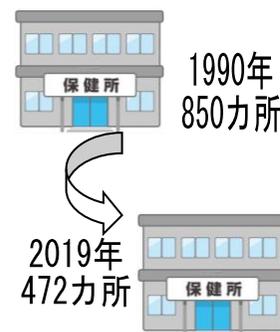
## 保健所は半分にされ 公立病院は病床削減！

コロナ禍で改めてその役割の大切さが浮き彫りになった保健所が不足しています。自民、公明による「社会

## 学費を五十倍化した自民

日本	
1971年	1万6千円
	↓
2020年	82万円!!
ドイツ	
2020年	3万7千円
フランス	
2017年	2万3千円

今度の総選挙は、国民の命を第一優先にする政治に切り換える絶好のチャンスです。比例は日本共産党へ！千葉5区は浅野ふみ子へ！



保障を削るのが良い政治」という新自由主義によって医療や介護、保育等の予算が削りに削られてきたからです。

かんぱい  
Cheers!

日本共産党浦安南部  
後援会ニュース 55号  
2021年8月発行  
発行責任者:堀内勝利  
Tel&FAX:354-7815  
【部内資料】